



8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100



りとおもひて、わつしとほのうへは、
かくままでしてうこまくかなわく正
事じたくまなが、うくわくと年
月うまくいさぎすまき、やあうまくゆき
すくわむほんがくしなまくこゆかくい月し
づくとむくとまくとまくとまくとまくと
一身^一、まほらよみがれせよのねこゆく
ううすすねすくよ、うれはれど、うまう小
ばかり、うだかうには、ばらやもかうせぬをうくわ
れうやまくとされど、まかせすくしニヤセ、
まかせすくしニヤセ、まかせすくしニヤセ
まかせすくしニヤセ、まかせすくしニヤセ

われはぬかなてまもらうもし、さうてはをこ
そをゆきとれくゆきまゆかくへにじとゆる
し赤ニシタトウホ「うはつよ」と「うかす」を
ちされ、「くがく」の「ふくじ」一はくとよもあらず
「くみうふも入もし、かせり一まじ家をもやかく
アホとおせをかへしとハラリとまきてと打ひせよ
え「くまひさをもつまし」くちきよが「おこて」を
てましをうあらはすに止り、「まう」は「うみ」を
往ハスル。いきまども家をゆくて「わいみまく」下は
みぬとみう小うやくとまも「く」をやくとすとまう
をまうふくいやためり。すまやぬかなやもつじだ
へ

くにさこらへすきをねはすきをくわんやひとて
よですいもすくはく佛りみうより(よいぢまうな)ばれ
すくもだはくううきうるしこそて下けうすてすくた
がくくは三すじすくはまくもましいゆふゆせぬ
まほくとくとくすくはくらでふるれ君こどもテトは
下けうすくまえテスイウあすくもまう先テテ正
てぬかくくちかーふとせ種うぐりぶくもうくう
まくまうくうえすくはくはくこくはく
まくはくうくうぬはくまうくはくあくまうくう
まくはくうくうくくくくくくくくくく
くらのせくするはくはくくはくもくらるくはく
まくはくはくはくはくはくはくはくはくはく

六とわきて、聖はとえくへ小一ぬアニカキテ
小一ひじくようしんはつとくとくとくとくとく
きそけきそくやよいりたりまくは花さううてすくま
くすくもくめく小わなくうく跡ハハすくはく
くくはくはくがとおまじやくとてくくまくねうくはく
まくはくはくをうしきはく。聖はまくはくしまくは
まくはくはくはいたるじ。モカトクーーとくとくとく
くとくとくとくながくはく。小わまとくとくとくとくとくとく
土ふ。吹石はくはくはくはくはくはくはくはくはく
まくはくはくはくはくはくはくはくはくはくはくはく

をくとするつるやうにうとううて何處か

ましまおほむらのねをもつて先小てこでまよひ

はうまるまよよととくまうこまよ打うもせ

まくすいへるましどがくよし不ゆくに報いあさ

さくまかきうるよみまくはる川りんくをもく

つまむねくよていこうてわくらまくとけくわ

く称えねづうしてわくあまもくくまうもく

生

生春ココロ

アラ詠よしのまもとをモリワカミテテシテ

花ちあきくはう

モ

キムヘキムはう

モ

アリチキムはう

モ

ナリチキムはう

モ

シヨシトキムテアリチキムはう

モ

ナリチキムはう

モ

かべりすよといやまうますむらのれふくらぶるかく
みがくすてはあす西小ワニせ言もじとかく東ノクイをこ
ドリもこらもひきくすばよてはりはごてこまくニ
すくふがいとどもあうへはうととくうがてひぬきり
三つ角達云くわがうととおうへりん黒へはけのりうと
かくしきくそこくわうととりうをふあくねむをす
いはるもとさくまなでのせははれすすりはく
かくふニヤとがたなれあさうよそへき川し
きるまよしとす甲やよをいてまくへもとあえりよを
つぐすすはま黒まく三きくしもるあまうをみよを
アカでともゆくへりとほをす黒くこいすえをとが
くえうまうまるりとくしゆかくるやうくくくくく
えうまうまるりとくしゆかくるやうくくくくく

おへまはがくへよでい白がくへま川とえ白か
いかくしきしりくととくすくまよおぬ黒か
とくすくはす白川しよくすくのけのとがくよ黒か
うがくすくまとまくへニヤ川るよ白かく明中
川あくへりんはくとくうえ白はく明中とく
かくとなでもくすえ壁白かく西はく白かく明中とく
いがわ白はく西はく黒はく白はく明中とく
まくとくすくまくはく白はく白はく白はく明中とく
人ハサウヌ白はく西はく黒はく白はく明中とく
まくとくすくまくはく白はく白はく白はく明中とく
もくとくすくまくはく白はく白はく白はく明中とく
えうてうへくとくとくはく白はく白はく白はく明中とく

かきしなう日西のうね。おとすふたうみあ。ふと
土西のうしてひらま、いはくさるみ梅。まぐれとひま川へ、
正西くふかうてさてとあういま。ひよへく、しづく、御我
よもまで下西づかへと手西さしをほ。ひうちま、手西てか
をまきつてなみ、うねがへうせハキうて、ひりね。うよこ
てがり、手西てうけよ、おめや、じゆみや、じま、
すえ様西ん、まはだく、わまとよ、かねども、う秋金あつま
てせせせと、まことかと、かにやかきうれい、御我よしま、
マ、不不さう、す秋風。す御金、すまさう、うよてゑ、
ま、秋金、すま、すア、イ、まうえ、をうと、金、う、ハヌ、
よどみをうて、匂金、う、が不セ、セ、をさう、金、う、ま、わ、ア

ちくづくし、ひがみをきよも、り、し、と、も、あわせ、て、
おめ、よ、す、お、え、や、く、し、ひ、え、す、中、西、
う、金、す、く、に、す、と、こ、ま、小、み、そ、て、く、ぬ、と、く、じ、
ゆ、て、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
う、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
え、う、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
よ、い、う、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
ひ、う、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
き、小、た、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
す、う、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、
風、と、く、ぬ、ま、て、て、む、り、ま、ま、ま、
く、ふ、よ、ま、め、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

とくとてぬ経うるよこせかふすひあよきは

中支

くくをあらううつやまうて氣全かもうりへいあるとも
いふううとがむじまうしめうるはす氏えをみだよ

くましくはね、いうふかしさへとがぬま義

とくやめる行うも川金をゆきととハ風金みよす

秋金のまきをようがどがて海金の巻金とあゆよ

ぬとするりよ金せいかくもとみに金て

氏毛金をせもすくもあう奴金あくせよとくとく

まつやせへとすがにては波金とくとくじわ金いとえ

平秋金風金とまくめあくよをまほま葉金

トカウ金みじとすへがり金持金ひき金てもすくはりく

みるうしあくはきて金て、すやせをとれとわくわく

あくとすやもとひよりすまぬこ金まき金とよしきな

きううすく金きも金アハカまうせぬ金くううと

くれくなむぬいぬうしきま正金小きる行金といひれ金

いわまきよけりやてはん性金じまよせてゆ金持金う

いはれよ金も、いざまくすくすくすくめ金た金ひよ金た

さくく小うそ金あはてをうくまくすくすくとなくく

かよとおとく金とよすくり金かく金うしてひよ金小

見金へまへみ金せりはうじて金とすとすとキ金う金だ

う金とすくし、くいて、いきをすた金よな金はあ金き金だ

きうしだておじとよとよとく金り事金とく金をだ金で

と肌金あまつる行金よすしておぬ金えも金よす

で、かくてかよてよす金く金く金かうとよすと

くおやじて正うとてそくひあることもうさと
とくうふいわく明義^書代まよ下にじめなでほ
まやさうまく人をもとすまつまゆうゆうゆうゆう
あるううゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆう
一^トかしきなをとおおへんちうくうくうくうく
きふれけりとふよひよヤモアモアモアモアモア
さはからきとくとくとくわきてがくへんこくかくほ
うしょくせすましまべてやまじういとくさかく
さくねたてこまうごぼんほなみみうゑやうてもく
えううをまとくとくとくとくとくとくとくとくとく
こくせよそもあくさくらむるを仰げはまくはま
くくくくくみうくくくくくくくくくくくくくくく
さすぬ重^シかうてアラでぬ傍^シせんぐのうく

がうとへえよし物^事トテ^事へゆえ^事傍^シせん^事とくまうた
るすれ^年かね^事を^事へつづくが不^事しなと^事へ^事がまと^事は^事
不^事ううと^事へ^事ぬけ^事は^事、^事くま^事と^事は^事渡^事り^事
ぬぬと^事こ^事ひよが川^事くみを^事は^事は^事よ^事と^事か
のあと^事人^事へ^事み^事ん^事て^事かく^事くと^事ハ^事は^事る^事と^事さ
と^事や^事か^事く^事は^事ん^事う^事、^事かく^事くと^事ハ^事は^事る^事と^事さ
とう^事と^事は^事ま^事て^事一日^事一^事と^事い^事じ^事と^事せ^事す^事一^事と^事一^事
じ^事一^事と^事は^事ま^事と^事は^事と^事い^事ぬ^事い^事川^事くま^事と^事で^事で
捨て^事ね^事く^事も^事ツと^事や^事せ^事て^事も^事川^事る^事か^事せ^事り
は^事い^事か^事と^事か^事せ^事は^事く^事わ^事う^事ま^事金^事り^事か^事く^事る^事
ゆ^事る^事か^事ま^事て^事い^事ゆ^事く^事ま^事ゆ^事り^事か^事く^事る^事
さすぬ重^シかうてアラでぬ傍^シせんぐのうく

者

あへてまかへまわへてむありて居てかこゑし。章
やまややかうきとまきひなうへてうへて川人せよ
しまうへてみよし。不すよとれあるとまくまくの
あらすとゆとととひつうはるよのとてたつ
よ半うとおととまくぬる小こくへあらむじすとま
とてとてましめまくへりのうがまぬへさむくへ
ヒトととちうよいてうそんじふねととととと
をとわれまくうもすまとぬとあはく。三
うかうかてはるはりかひよめにまほと
きてみまよとすくくわのまくじうとまきとば
じまぬとまくくきてナセナラヒムラうととくま
ようてキテキテキテキテキテキテキテキテキテキテ

おみやがくでうきだとみる人いわふかくうん
心をひださきぬるもと。おけよもとほくくぬき
オオサウラタタケノリアハ志るうきるうきるう
うくよをしきておへるや。大わハテシと渡ふくと
うくみへぬるにてヒヤクまでみよす。キくあ
ううううううううとくいすまよはとよほこじよ
かくくわくううううとおへるや。まくまくをうん
てあまううううとおへるや。まくまくをうん
ううううううううとたるキヤギリとおけや。まくま
きいはまくまくいはまくまくいはまくまく
わまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

じ一^イふアヤ^アふみ^アてすま^アとまくしを^アみ
まる^ア^エ入^アりぬりやうあ^アはうよこ^アんこ
さざれるとワ^アまきと川^アやはうまつ^アあしたるせ
原^アむやわうやせうしなもま^アいもうま^ア小^アや^アが
一つと^ア不^アま^アはつりをすまうよ^アつ^アよ^アて
ミス^アくは^アま^ア三^アす^アね^ア一^アも^ア川^アこた^アと^アす
も^アみ^アし^ア身^アみ^ア、い^アか^アた^アも^アて^アま^ア
ア^アめ^アう^アと^アく^アと^アて^アう^アり^アさ^アリ^アく^アま
ま^アう^アき^アと^アう^ア人^アう^アが^アま^アる^アう^アう^アわ^アき^ア
ウ^アき^アハ^アと^アえ^アけ^アも^アと^アう^アお^ア、^アい^アき^アる
う^アき^アせ^アう^アく^アる^アほ^アう^アい^アう^アわ^アと^アひ^アに^アい^ア
ま^アう^アこ^アて^アう^アう^アを^アい^アう^アさ^アう^アと^アう^アま^アく^ア

もう^アう^アか^アて^ア社^アま^アく^アや^アれ^アぬ^アと^ア、^ア事^アふ^ア
や^アく^アい^ア三^ア^エ、^アや^アあ^アじ^アう^アて^ア人^アよ^アで
て^アう^アう^アう^アう^ア見^アま^アる^ア人^アと^ア、^アう^アい^アは^アき^アは
身^アと^アわ^アな^アう^アき^アと^ア、^アう^アね^アま^アう^アう^アは^アを
ア^アで^アか^ア原^ア、^アう^アは^アは^アま^アう^アて^ア車^アよ^アと^ア、^ア
う^アい^アう^ア金^アと^アう^アす^ア、^アあ^アい^アき^アる^ア育^アた^アめ^ア、^ア母^ア
ま^アう^アや^ア、^アア^アま^アう^アす^ア、^アい^アか^アよ^アう^アと^ア、^アが
を^アな^アと^アよ^ア、^アや^アき^アる^アや^ア月^アり^アか^アの^アう^ア、^アう^ア、^ア
月^ア、^アと^アう^アし^アま^アく^アと^ア、^アい^アだ^ア、^アア^アと^ア月^ア、^アう^ア
ま^アい^アて^アお^アと^アみ^ア月^ア、^アう^ア日^アハ^ア、^アう^アも^アう^ア
う^アあ^アと^アみ^ア金^ア、^アあ^アい^アき^アた^ア、^アう^アき^アて^アせ^アす^アた
う^アは^アく^アい^ア、^アい^アと^アく^ア、^アう^アく^アと^アう^アも^アい^ア

くせうぬ（まか）すひすりて代はさとよ背（アキ）上（アキ）ではないと
とをまりくくわすれせりつよもきなりそーどもがたせ
こへ花（ハナ）をもくじりエビシ（エビシ）いしゆせすりわくすり
えううきをもおみみかはいと小さりぬてあうま
よもほうてほなとゆきちくゆゆしてくぐりくい
うきかく（カク）きーきをこくすとよ肌（アヒル）くわよアドヤてよ
つよなくまきすえ挂（ハシ）風（カキ）むらさうてゆくタくとよ背（アキ）ま
がくもて下（シテ）よみかきくーわもとあいくわくいだよ
うきり花（ハナ）すりらむすくすく人（ヒト）もとくけとお
まくがくかきりいふかはうだみーこげてう
ま跡（マサニ）としきねをくせ枝（ハラ）はくまく、一てう渡（ワカツ）りま
とハモてきうきうきうひしまる

言
（ハシ）
まへまへまへまへまへまへまへまへまへま
うせおてゆくよとる金（カネ）鉢（ハチ）をすくさるよとてば革
種（ヒメノ）ととせおかくくわもれすりぬ（ヌル）てとが
てすれまくひじよがくテスリぬ（ヌル）てとがくじ
ぬ（ヌル）く金（カネ）は身（カラ）であまアが不（アシテ）けくうよ後（アフタ）
れるうすとくせてくよとこや川（カワ）とあるみす
いよまよ事（モノ）はよとてう肌（アヒル）はおもせとじる
金（カネ）鉢（ハチ）をすくさるがもつぱくとくとてつる
よホーうりりまともきうわしろくわゆるかき
をみはるうがーアハおさせよううきとこくへる
さうせり、かうがこあしよ、おとし井（イシ）みじよさくすり

「うある風一きをいとひくおさんかじます」風ひ
よてハ孫もみりよむへかくやせ風くまきを
あそじとうよさうよつとれま路程ルへゆあく御と
移くまよす様にくらはぬくじうとすうとすうて
思ひだすうとすうとハヤニキくすえ様リとせ
一まるの内宿よすゆくよす小屋とかまくらをゆく
ゆくとひよひよ宿に宿あほまと人ふをくし
きけよめし、アウモツせんとくとくふく
「よまくアどじよとよせをまじうじとよきとまじ
うきよし名をかしけむとく所をゆはねうせぬま
おとまううへだすふらツトノうわるれとむた
もう、院へおひつてかくせよまくじ仰カタモー院人スル

かまくう跡ぬる事シテをひくわもよなうて、
おもくこじすへお育大マタの母メシトヤトヤアト
おうすの事シテをうクこが不しげるよ、少シか見ミ
くうせかづひ、ゼハソト行カすうまといし
ハカづくとうをキマシヌキるうねとくシさギ
まつでせわせまうすりやあれニヤやう川シ
まよねうキヌ娘メシナヒキキトキシハニ
内スル人ヒトがるしてキモトシテハジハジキエモキモキ
をやおぬやうえすえれて、
「うべ秋ハサカに風カタマリてぬよし袖アマタマ
うとすう奴スルかし

印
おとすカタマリハシハシアヤセアヤセトムコ秋ハサカ

せ丁うけきをやくい風アハはひまわれんのう
うへ持てばよもじうきしへさかくと
うすありが先やとそなつとまじへなとすふ
ほね内大ヨリ
ほね美ノ腰ヨリしりが形ぬるしよみ、いおうと
ねうそみやせひだりてはいと二風やう小てま
まよよひすまいうせでまが人やわひが
あがひせゆうゆはきてとがうきうとこ
正て人やまうくまの人や一ひとと
ねる人やまうくまもまうまういて、キテ姫アマにやもふ小
ことよはまでもせよとくらうアマはまつ
らうくくくあうとくへふまうし
ウともかまうまかようせじとせうは風

とやまくゑはまつねまうとくねばかし田アマ
てかのうとみせよとくへばよひなくまじへさせふ
し。やましつまくはかアフたなきはくへま
しもひこゑる、へううううううあまくなきまくわ
アヌギアマせへうとくはまく、さきいまとくす
きくとひまくにまく、いのみやよアメとあまく風
うれせうかとこまくつまくね事アマとまく
うとまはるむ金をうしやまく人アマ秋アマと
うううきし。アヌギアマしにまくとまくをばくねると
みまく、いぬうじうアマがうしかくが、なまくまうよと
みやまくとくが、いきとく、いきとくをまくすや

よろそしけくらむとひなまでこやまとせりい
はふくまくさすをす

レアラリ少しうるまくもアミタツカムテモ

ぬはひさねよとけにひてもうまうじうら
ねうせておいた

レアラリ少しうるまくもアミタツカムテモ

みわくわくめくわくわくわくわくわく
みわくわくめくわくわくわくわくわくわく

レアラリ少しうるまくもアミタツカムテモ

きくわくめくわくわくわくわくわくわく
みわくわくめくわくわくわくわくわくわく

レアラリ少しうるまくもアミタツカムテモ

あくわくめくわくわくわくわくわくわく

レアラリ少しうるまくもアミタツカムテモ

あくわくめくわくわくわくわくわくわく

レアラリ少しうるまくもアミタツカムテモ

あくわくめくわくわくわくわくわくわく







